プレスリリース

2018年10月3日
株式会社アイル

# アイル、楽天ペイ、Amazon Pay、LINE Pay と協力し、業界初「Pay 体験イベント」を 10 月に東京・二子玉川で開催

## - イベント内の商品は、スマホ決済で全品 10%オフに！
## 大手３社のスマホ決済サービスが集結し、その場でお得に体験可能 -




ネットショップの業務システム支援を行う株式会社アイル（本社：大阪市北区・東京都港区、代表取締役社長：岩本哲夫、証券コード：3854、以下アイル）は、楽天株式会社、アマゾンジャパン合同会社、LINE Pay 株式会社と協力し、2018 年 10 月 5 日（金）、6 日（土）に東京・二子玉川ライズにて、一般向けに業界初（※）の Pay 体験イベントを、同日開催の「BACKYARD FES.2018（バックヤードフェス）」内で開催します。

当日、イベント内の商品は、現金決済のほか、「楽天ペイ」「Amazon Pay」「LINE Pay」のどのサービスでも決済可能です。また、これらのスマートフォンによる QR コード決済（以下、スマホ決済）により全品 10%引き価格で購入できます。国内のキャッシュレス化が推進されるなか、お得にスマホ決済を体験でき、その利便性を実感していただけます。

(※)業界初…EC 業界（協力３社はともに EC サイトを展開）に関わる、複数のスマホ決済サービスが体験できるイベントは、初開催です。

**【 開催背景 】**

**キャッシュレスの進まない日本**

経済産業省は 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、訪日外国人の決済の効率化を図るため、日本のキャッシュレス化を推進しています。しかし、諸外国と比較して日本のキャッシュレス比率は、19%に留まっています（※1）。その一方で、小売流通業で最も業務時間が費やされているのは、「レジ現金残高の確認作業」であるとの調査結果（※2）も出ています。

**大手 IT 企業が、続々スマホ決済市場に参入。使われない理由には実態の不明さ**

このような時代背景もあり、大手 IT 各社がスマホ決済サービス市場に続々参入しています。しかし、日本のスマホ決済による売上比率は、わずか 1%しかありません（※3）。スマホ決済が使われない理由には、登録が面倒、操作方法が分からないなどが多く（※4）、スマホ決済の実態が理解されていない背景があることが分かります。

**スマホ決済が浸透すれば、小売業界はもっと盛り上がる**

スマホ決済には、多くの人が持つスマートフォン 1 つで、個人情報やクレジットカード情報を都度入力する手間がなく決済できるという高い利便性があります。また、店舗側は決済処理が容易になり、大手

サービス会員の取り込みが可能となるほか、販売機会損失の防止にもつながります。
　そこで、スマホ決済サービスをその場で体験できるイベントを通し、スマホ決済の利便性を多くの方に実感してもらうことで、スマホ決済サービスの浸透や小売業界のさらなる発展につなげます。

（※1）（※2）（※3）株式会社野村総合研究所　2018 年 4 月 12 日発表「キャッシュレス化推進に向けた国内外の状況」調査

（※4）KDDI 株式会社　2017 年 7 月 4 日発表「スマホ決済利用意向調査」

**【 開催概要 】**

イベント名　：　BACKYARD FES.2018（バックヤードフェス）
開催日時　　：　2018 年 10 月 5 日（金）11:00～20:00 ／ 6 日（土）10:00～18:00
開催場所　　：　東京・二子玉川ライズ中央広場リボンストリート（東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」）
参加費用　　：　無料

**【 イベント詳細 】**

**[ スマホ決済サービス詳細 ]**

**■「楽天ペイ」**　https://pay.rakuten.co.jp/

国内利用者数 No.1※の QR コード決済サービスです。対象店舗のタブレット端末などに表示される QR コードや、プリント型の QR コードをスマホアプリで読み取ることで、支払いが可能です。本サービスの利用で「楽天スーパーポイント」を貯めたり、支払いに使ったりすることもできます。

※ QR コード決済利用実態調査、有効回答=1,200、2018 年 1 月、インターネット調査、調査主体： 楽天、調査実施機関：インテージ

**<楽天株式会社 概要>**

所在地：東京都世田谷区玉川 1-14-1 楽天クリムゾンハウス
代表者：代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史 ／ 設立：1997 年 2 月 7 日

**■「Amazon Pay」**　https://pay.amazon.co.jp/

Amazon アカウントに登録した配送先やクレジットカード情報を利用して、Amazon 以外の EC サイトでも簡単に買い物ができるサービスとして、2015 年 5 月に日本での提供を開始し、現在、数千社の EC 事業者が利用しています。また、実店舗でのスマートフォン決済には 2018 年 8 月から対応を開始しています。

**<アマゾンジャパン合同会社 概要>**

所在地：東京都目黒区下目黒 1-8-1
代表者：社長 ジャスパー・チャン、ジェフ・ハヤシダ ／　設立：2000 年 7 月

**■「LINE Pay」**　https://line.me/ja/pay

国内月間利用者数 7,600 万人のコミュニケーションアプリ「LINE」内で利用できるモバイル送金・決済サービスで、3,000 万人が登録しています。「LINE」の友だちとメッセージ上で、手数料無料で送金、提携サービス・店舗での支払いが可能です。月間決済額によって 0.5～2%のポイントが還元されます。

**< LINE Pay 株式会社 概要>**

所在地：東京都新宿区新宿 4-1-6　JR 新宿ミライナタワー 23 階
代表者：代表取締役 CEO　高 永受 ／ 設立：2014 年 5 月 9 日

* 楽天、楽天ペイおよびそれらのロゴは、楽天株式会社の商標です。

* Amazon、Amazon Pay およびそれらのロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

* LINE Pay およびそれらのロゴは、LINE Pay 株式会社の商標です。

**[ 出店店舗の一部紹介 ]**

当イベントでは、ネットショップで人気の高い商品を特別にリアル販売することで、来場者に新たな商品との出会いを提供します。






コンビーフボックス（千駄木腰塚など）／飲む焼き芋（おいしいねいばらき）／ジェラート（雅正庵 by おやいづ製茶）／壺プリン（神戸フランツ）／レアチーズケーキ（コガネイチーズケーキ）／よなよなエール（よなよなの里）／オーガニックタオル（IKEUCHI ORGANIC）／レザーアイテム（マザーハウス）／素材派パジャマ（パジャマ屋）／着物体験（KIMONO Share）／ボルダリング体験（じゅうたす）／レザーグッズ DIY（マザーハウス）／ダンボールアート・ノート作り体験（rubodan・儀間朝龍 氏）／壁紙貼り体験（壁紙屋本舗）など、約 30 店舗（予定）。

**【 「BACKYARD FES.2018」について 】** URL ： https://cross-mall.jp/backyard_fes_2018/

ネットショップを陰で支える“バックヤード”が主役のイベントです。ネットショップの需要が伸び続けるなか、その裏では、ネットショップのバックヤード担当者が日々地道にサービスを支えています。

当イベントは、バックヤードのご担当者同士で集まり、お客さまとふれあい、互いの商品やノウハウを交換し合い、讃え合う、一年に一度の「お祭り」です。

ネットショップに関わる方にも、一般の方にも、きっと“わくわく”していただけます。

**【 株式会社アイルについて 】**

昨今の小売事業に、インターネット販売は不可欠です。当社は、インターネット販売における業務管理システムを提供しています。「ネットショップ業界を陰で支えている方々に、もっと光を当てたい」という思いから、システムの提供に留まらず、イベントの企画・開催や日本初（※当社調べ）のバックヤード専門メディア「B.Y（ビーワイ） https://crossbackyard.com/ 」の運営など、さまざまな取り組みをしています。

| **会社概要** https://www.ill.co.jp/ | |
|---|---|
| [ 社名 ] 株式会社アイル（東証第二部上場 証券コード：3854） | |
| [代表者] 代表取締役社長　岩本哲夫 | [ 設立 ] 1991 年 |
| [資本金] 3 億 54 百万円（2018 年 7 月末時点） | [社員数] 616 人<連結>（2018 年 7 月末時点） |
| [売上高] 94 億 12 百万円<連結>（2018 年 7 月期実績） | [ 本社 ] 大阪本社：大阪市北区 / 東京本社：東京都港区 |

| **報道関係者さま向けのお問い合わせ先** | |
|---|---|
| 株式会社アイル　広報担当 ： 吉野（よしの） | TEL：03-6367-5875 ／ E-MAIL：info@ill.co.jp |